

○2011年6月21日総務常任委員会での意見陳述

町田市政を考える会・草の根です。請願の主旨はご存知のとおりです。

*町田市の市議会議員の期末手当だけが、5.2ヶ月とダントツ高い。

昨年2010年12月、「三多摩の全ての市」の、市長・副市長の期末手当と、ほとんどの市の市議会議員の期末手当、ボーナスは、3.95ヶ月となりました。何故、町田市の市議会議員の期末手当だけが、ダントツ5.2ヶ月のままなのでしょう？

*市議会議員も、市長も、副市長も、特別職です。

町田市では、同じ特別職でありながら、市長、副市長は期末手当の月数を減らしている…一方、市議会議員はまったく手付かずで、現在、なんと1.25ヶ月という、大きな違いができています。

*何故5.2ヶ月なのか理由を知りたいと思います。

100人に聞けば100人が「3.95にすべき！」と言うでしょう。

「町田だけは5.2でいい…」という人はいないと思います。

八王子や、武蔵野の市議会議員が、3.95であるのに町田の市議会議員のボーナスが、多くなければならない理由はなんなのでしょう？

「町田市の市議会議員は、自分たちよりもよく働いているから、5.2ヶ月は妥当である…」と、26市の市議会議員が言うか…聴いてみてください。

八王子や武蔵野の市議会議員よりもボーナスを多くしなければならない理由はなんですか？

唯一、これだけが、質問です。

*ボーナスが、5.2ヶ月であらねばならない明確な理由がないのであれば、すみやかに3.95ヶ月にすべきだと考えます。

ご審議よろしくお願いたします。